

第3回秦野市伊勢原市環境衛生組合火葬炉事業者選定作業部会要旨

- 1 日 時 平成26年2月4日(火)
午後1時28分から午後4時40分まで
- 2 場 所 秦野市伊勢原市環境衛生組合（以下「二市組合」という。）
はだのクリーンセンター小会議室
- 3 出席者
 - (1) 作業部会員8名
 - (2) 事務局
 - ア (株)綜企画設計3名
 - イ 二市組合施設課職員1名
- 4 内 容
 - (1) 配布資料の確認
 - (2) 議題
 - ア 公募要件、プロポーザル要領書の検討について
 - ・ 部会員からの提案により参加資格要件の項目の中に、暴力団を排除する内容を記載することとなった。
 - イ 評価基準の検討について
 - ・ 部会員から参加資格及び実績要件の確認方法について質問があり、事務局からどちらも事務局が確認すること、特に実績要件については要領書内の様式1、2を参加表明時に提出させることを説明した。
 - ・ 部会員からプレゼンテーション、ヒアリングを評価対象とすることについての発議があり、検討の結果、問答によって技術力等の的確性が確認できるなどの観点から、評価対象とすることが決定した。
 - ・ 部会員からプレゼンテーションをする時間は20分間であるが、これは妥当かとの質問があり、事務局から他の事例や1事業者に要する時間等を考えると妥当と思われることを説明した。
 - ・ 部会員から絶対条件の内容と他の評価項目とが重複することはあるかとの質問があり、事務局から絶対条件を担保できない場合は審査を

しないということであり、絶対条件をどこまで上まわるかという部分を評価する項目はあるが、絶対条件そのものを審査するものはないことを説明した。

- ・ 部会員から絶対条件の確認作業は、誰が行うのかとの質問があり、事務局から技術提案書をもとに事務局が行うと回答した。
- ・ 部会員から他市の斎場の視察時に火葬炉の排気系統は1炉1系列の方が運転制御の効率化や緊急時の対応が図られるとの説明があったが、ところが今日の事務局の説明では実績要件で求める2炉1系列、3炉1系列の方が技術力は上であると言うがどういうことかとの質問があり、事務局から1炉1系列に比べ2炉1系列、3炉1系列の方が排ガス処理における制御が難しくなり、技術的に高いレベルが必要であることを説明した。
- ・ 事務局から評価項目、評価基準及び採点方法について説明した。なお、作業部会は当初は3回で終了する予定であったものを1回増やすこととし、評価、採点について次回決定することとなった。

5 その他

事務局から今後の日程について次のとおり説明した。

- ・ 2月10日月曜日に火葬場施設研修会を実施する予定。
- ・ 第4回火葬炉事業者選定作業部会は2月19日水曜日、午後1時30分から開催する予定。